



日本赤十字社

誤嚥性肺炎の治療を受けられる (

) さま

主治医は、 _____ です
 病棟師長は、 _____ です
 担当看護師は、 _____ です

	入院当日～3日	入院4日～9日	入院10日～退院まで
月・日・曜日	/ () ~	~	/ () ~
食事	絶食です 飲水については医師の確認が必要です 	嚥下機能の評価で絶食継続であるか判断します。 食事再開後は、飲み込みしやすい様、食事形態の工夫やとろみで調整した食事の提供です 自宅からの差し入れなどの持ち込みは、看護師にご確認下さい。 	
安静度・清潔	ベッド上にて安静にして過ごします  口腔内の清潔を保ちます(歯ブラシ・義歯洗浄など持参下さい)	安静度は、リハビリや全身の状態を見て判断していきます。 状態に合わせて身体を拭いていきます。 	
検査	入院時、各種検査があります 胸部写真 採血 	必要に応じて、採血、胸部レントゲン等の検査があります 必要に応じて、耳鼻科で嚥下機能評価を行います 	
内服	持参薬を確認します 内服を継続するか医師の確認が必要です。 		
点滴・注射	抗生剤、補液を投与します (食事ができない間は点滴があります) 	状態に応じて抗生剤、補液を継続または変更します	
説明・指導	入院までの経過などお伺いします 必要に応じてリハビリ紹介があります 医師により病状と療養スケジュールについて説明があります 退院支援看護師と面談があります   	言語聴覚士や栄養士により、栄養摂取手段の再検討や変更が行われることがあります。 1週間程度で医師より病状や療養先について説明があります。 	10日目程度で退院・転院を決めます。 医師、看護師、薬剤師、療法士による説明があります。 これからの療養の場、かかりつけ医について調整を行っていきます。  
注意事項		誤嚥予防で重要なのは、食事形態と姿勢です。 経口摂取可能となった場合は、言語聴覚士から指導があります。	

* 病状に応じて、予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら、担当看護師におたずねください。

